

江別市の財政事情

一般会計

平成 29 年度の決算額は、歳入が 448 億円、歳出が 441 億円となりました。前年度と比較して、歳入は、地方交付税や国庫支出金などの減により 16 億円の減少となり、歳出は、第一小学校校舎建設の終了による教育費の減などにより 18 億円の減少となりました。[\[詳細\]](#) 財政課 ☎ 381-1010

平成 29 年度はふるさと納税 8,157 万円をはじめ、個人・団体合せて 1 億 6,531 万円の寄附金がありました。環境・福祉・教育事業など、寄附の趣旨に沿って活用します。

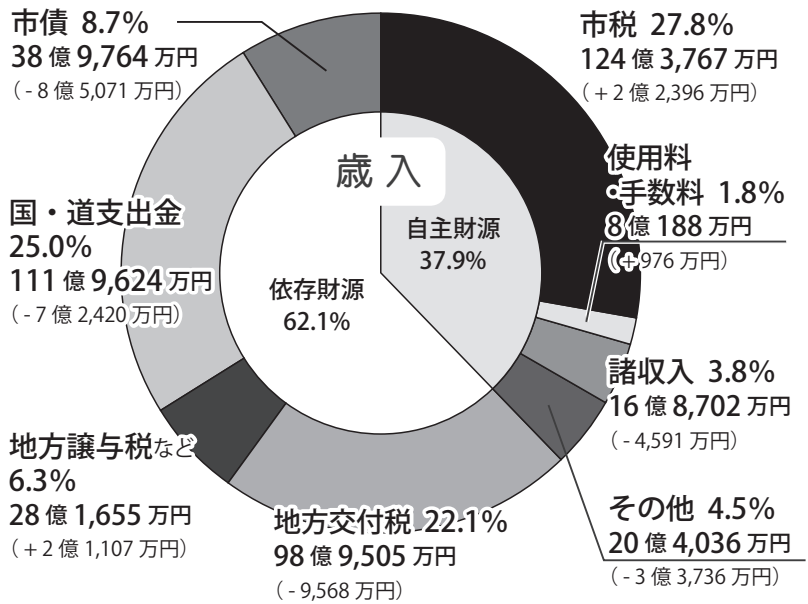
歳入 ()内は前年度との比較

447 億 7,241 万円 (− 16 億 907 万円)

自主財源の割合は約 4 割で、地方交付税や国・道支出金などの依存財源の割合が高くなっています。

用語の説明 (歳入)

市税／市民税、固定資産税、都市計画税など **使用料・手数料**／公共施設の使用料、住民票発行・ごみ処理手数料など **諸収入**／貸付金の返済金や宝くじの交付金など **その他**／基金の取り崩し、前年度繰越金、寄附金など **地方交付税**／一定水準の行政サービスを行うために国から配分される交付金 **地方譲与税など**／国が徴収した特定の税のうち、一定の基準で地方に配分されるものなど **国・道支出金**／道路・学校整備や障害者自立支援給付など、特定の事業に対する国・道からの負担金・補助金など **市債**／施設や道路建設などに関する借入金



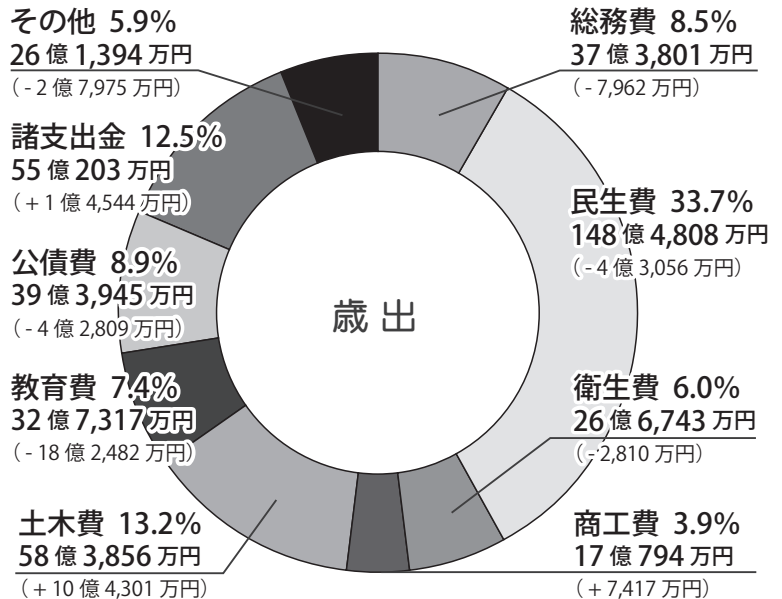
歳出 ()内は前年度との比較

441 億 2,861 万円 (− 18 億 832 万円)

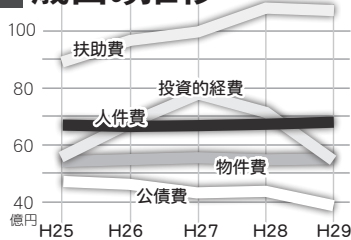
医療・福祉などにかかる民生費の割合が高くなっており、全体の約 3 分の 1 を占めています。

用語の説明 (歳出)

総務費／戸籍・住民基本台帳、庁舎管理など **民生費**／医療・福祉の費用など (児童手当、後期高齢者医療費、障害者自立支援給付費など) **衛生費**／健診、予防接種、ごみ処理、葬斎場、墓地など **商工費**／商工業、消費者保護、観光など **土木費**／道路、橋りょう、公園、除雪、治水など **教育費**／義務教育費、体育館・図書館など **公債費**／地方債の元利償還金など **諸支出金**／特別会計への繰出金など **その他**／議会、労働、農林水産業、消防
※職員給与費は各科目に分類しています

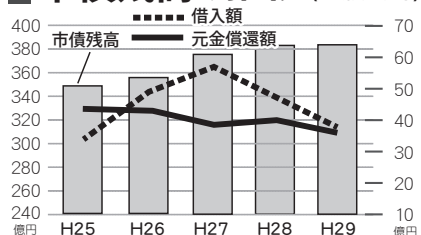


歳出の推移



第一小学校校舎建設の終了などで、投資的経費が減少

市債残高の推移 (一般会計)



新栄団地の建替えや大麻体育館の耐震改築などで、市債残高は増加

健全化判断比率

指標	健全化判断比率	※1	※2
実質赤字比率	該当なし	12.12%	20%
連結実質赤字比率	該当なし	17.12%	30%
実質公債費比率	8.6%	25%	35%
将来負担比率	30.9%	350%	

※1 早期健全化基準(黄信号)と※2 財政再生基準(赤信号)の数値を超える項目はありません

特別会計

	歳入	歳出	差引収支額
国民健康保険	150億 384万円	145億 7,712万円	4億 2,672万円
後期高齢者医療	15億 5,930万円	15億 5,429万円	501万円
介護保険	94億 9,922万円	91億 1,551万円	3億 8,371万円
基本財産基金運用	3億 3,710万円	3億 3,574万円	136万円

入湯税・都市計画税の使われ方

入湯税 (39万円)		都市計画税 (9億 5,007万円)	
環境衛生施設の整備 13万円	下水道施設の整備など	公園事業 1億 4,056万円	公園管理事業など
消防施設などの整備 13万円	消火栓の維持管理など	下水道事業 7億 9,326万円	雨水処理等負担など (下水道事業会計繰出金)
観光振興 13万円	江別観光協会補助金など	土地区画整理事業 1,625万円	江別の顔づくり事業など

企業会計

() 内は前年度比の数値。

水道事業

業務の状況

給水人口 11万 8,404人 (-84人)
 総給水量 1,077万 6,803m³ (+1,592m³)
 有収水量(※)1,026万 7,352m³ (+3万 2,173m³)

決算の状況

収益的収支の決算
 収入 25億 9,277万円 支出 21億 9,560万円
 資本的収支の決算
 収入 5億 13万円 支出 12億 3,708万円

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のこと

下水道事業

業務の状況

処理区域内人口 11万 5,640人 (-108人)
 総処理水量 1,780万 4,684m³ (+56万 9,032m³)
 有収水量(※)1,143万 7,161m³ (-5万 5,178m³)

決算の状況

収益的収支の決算
 収入 36億 4,104万円 支出 33億 7,979万円
 資本的収支の決算
 収入 10億 1,453万円 支出 21億 5,415万円

病院事業

業務の状況

入院 8万 213人 (-1万 156人)
 診療日数 365日:219.8人/日 (-27.8人/日)
 外来 16万 4,483人 (-6,242人)
 診療日数 244日:674.1人/日 (-28.5人/日)

決算の状況

収益的収支の決算
 収入 65億 1,966万円 支出 72億 1,273万円
 資本的収支の決算
 収入 6億 9,413万円 支出 11億 3,709万円

平成 30 年度

上半期予算 執行状況



平成 30 年 10 月 1 日現在の住基人口 118,971 人

(詳細) 財政課 ☎ 381-1010

各会計予算の執行状況

	歳入予算額	収入済額	執行率	歳出予算額	支出済額	執行率	
一般会計	447億 8,538万円	199億 6,065万円	44.6%	447億 8,538万円	175億 7,924万円	39.3%	
特別会計							
国民健康保険	126億 4,272万円	51億 1,112万円	40.4%	126億 4,272万円	47億 8,947万円	37.9%	
後期高齢者医療	16億 9,100万円	5億 3,425万円	31.6%	16億 9,100万円	5億 2,345万円	31.0%	
介護保険	103億 4,471万円	43億 2,163万円	41.8%	103億 4,471万円	37億 8,608万円	36.6%	
基本財産基金運用	3億 8,700万円	366万円	0.9%	3億 8,700万円	143万円	0.4%	
企業会計	収入予算額	執行額	執行率	支出予算額	執行額	執行率	
水道事業	収益的収支	25億 9,035万円	11億 2,604万円	43.5%	22億 4,907万円	7億 8,600万円	34.9%
	資本的収支	4億 8,966万円	0円	0.0%	15億 934万円	10億 5,814万円	70.1%
下水道事業	収益的収支	35億 6,779万円	11億 7,970万円	33.1%	33億 9,154万円	5億 9,688万円	17.6%
	資本的収支	10億 8,712万円	7,904万円	7.3%	23億 3,282万円	12億 6,404万円	54.2%
病院事業	収益的収支	72億 7,032万円	34億 5,022万円	47.5%	73億 4,026万円	29億 800万円	39.6%
	資本的収支	6億 7,163万円	4億 9,152万円	73.2%	11億 2,219万円	4億 6,779万円	41.7%

地方債の状況

会計名	残高
一般	368億 8,669万円
水道	24億 2,658万円
下水道	114億 8,383万円
病院	59億 4,949万円
合計	567億 4,659万円

一時借入金の状況

会計名	借入額
一般	0円 (限度額 100億円)
水道	0円 (限度額 1億円)
下水道	0円 (限度額 6億円)
病院	9億円 (限度額 40億円)

※当初予算で限度額を設定している会計のみ

市有財産の状況

区分	数量	市民1人当たり
土地	651万 6,264m ²	54.77m ²
建物	36万 5,118m ²	3.07m ²
各種基金(現金等)	68億 125万円	5万 7,167円
各種基金(土地)	16万 2,858m ²	1.37m ²
債権・有価証券・出資金	9億 5,717万円	8,045円
車両	119台	—